

スキルチェック(ヒューマンスキル/コンセプチュアルスキル)

科 学 籍 番 号 () 氏 名 () グ ル ー プ 名 ()

- 1 各質問項目を一つずつ読み、今の自分が到達できていると思うレベルの番号を回答欄の上位に記入してください。
(下段は実習の最終日に再度記入します)
- 2 1で記入した番号の次のレベル(回答が2なら3、3なら4)に書かれた文章を、○で囲むか、マーカーで色をつけて目立たせて下さい。
- 3 マークしたものがあなたの次の努力目標です。毎回の実習の前に確認して、意識しながら実習にのぞんでみましょう。

4 毎回の実習の最後に、**マークした努力目標に対し**、自分がどのくらい努力できたのか、◎○△×で振り返りましょう。できた◎ まあまあできた○ あまりできなかった△ 全くできなかった×

能力	質問項目	回答	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5	実習の振り返り						
								1回	2回	3回	4回	5回		
チームワーク力	1 目的と目標を共有できる	—	目的と目標を個人的に理解できる	グループ内の一部のひとたちと目的と目標を共有できる	目的と目標を共有できる	常に目的と目標に基づいて行動できる	目的と目標を忘れていたメンバーに思い出させることができる							
	2 他者をフォローできる	—	指示されれば他者をフォローできる	自ら他者をフォローする意識を持ってフォローできる	率先して他者をフォローできる	グループ全体に対して適切なタイミングでフォローできる	対象者の状況に応じて最も効果的なフォローができる							
	3 グループワークに参加できる	—	指示されればグループワークに参加できる	自らグループワークに参加する意識を持ってグループワークに参加できる	率先してグループワークに参加できる	責任感を持ってグループワークに参加できる	主導的にグループワークに参加できる							

能力	質問項目	回答	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5	実習の振り返り						
								1回	2回	3回	4回	5回		
コミュニケーション・調整力	1 他者に対応できる (2名以上の相手と意見交換する場面を想定してください)	—	特定の相手とであれば対応できる	面識があれば対応できる	誰とでも意見交換ができる	意見が合わない時でも投げ出さずに対応できる	不愉快な相手とも対応できる							
	2 自分の考えを相手に伝えられる	—	特定の相手には自分の考えを伝えることができる	相手に関係なく、自分の考えを伝えることができる	他者に要領くまとめた自分の考えを伝えることができる	他者が自分の考えをどの程度理解しているかを確認しながら伝えることができる	他者が理解しやすいように表現を変えながら自分の考えを伝えることができる							
	3 他者の考えを受容できる	—	他者の考えを聞く気持ちを持つことができる	他者の考えを理解することができる	他者の考えを冷静に受け入れることができる	他者の考えを受け入れ、自分の考えとの違いを判断して取り込むことができる	他者の考えを取り込み、さらに発展した考えを再構築できる							
	4 意見の対立を整理できる	—	意見の対立に気づくことができる	意見を整理できる	意見が対立する要点をあげることができる	対立する意見の長所短所を評価できる	対立する意見を解決する要点を整理できる							
	5 意見の妥協点を見出せる	—	意見の妥協点を見出す意識を持つことができる	不完全でも妥協点の案を指示できる	妥協点を見出すことができる	双方の立場を考慮した妥協案を見出すことができる	双方の立場に加え、目的・目標に沿った最適な妥協点を見出すことができる							
	6 意見をまとめられる	—	意見をまとめる意識を持つことができる	不完全でも意見をまとめることができる	意見をまとめることができる	双方の立場を考慮して意見をまとめることができる	双方の立場に加えて、目的・目標にあわせて最適に意見をまとめることができる							

能力	質問項目	回答	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5	実習の振り返り	
								回	回
リーダーシップ力	1 グループに目的と目標を周知させられる (各工程などで今なにをしなければいけないかを明確にしたり、会議や他者との作業の際に常に目的や目標を見失わないようにする場面を想定してください。)	—	グループに目的と目標を周知する気持ちを持つことができる	プロジェクト全体と各工程での目的と目標を常に把握できる	グループに目的と目標を周知できる	状況に応じてグループの目的と目標の周知の程度を把握できる	グループメンバーの状態に応じて目的と目標を周知できる		
	2 分担作業を割り振れる	—	作業を分担する意識を持つことができる	分担する作業項目をあげることができる	メンバーに分担作業の振り分けができる	メンバーの負担、特性に合わせて分担作業の振り分けができる	作業の補完を考えて分担作業を振り分けできる		
	3 メンバーの作業状態を把握できる	—	メンバーの作業状態を把握する意識を持っている	メンバーの一部の状況を把握できる	グループ全体の状況を把握できる	メンバー各人の状況を比較して、各人の負担を把握できる	状況に応じたフォローを指示できる		
	4 グループのモチベーションを維持できる	—	メンバーのモチベーションを維持する意識を持つことができる	親しい間柄であればモチベーションを維持することができる	グループのモチベーションを維持する行動ができる	グループのモチベーションをプロジェクトの目的や目標と結びつけて維持できる	メンバーの成果や貢献への評価と結びつけてモチベーションを維持できる		

5 リーダーになった回は、リーダーシップ力の振り返りをしましょう

6 リーダーにならなかったときは、「リーダーの評価シート」を記入してください

7 この取り組みで分かったこと、気づいたことを記述してください。